

令和2年1月23日

平塚市長 落合 克宏 様

平塚市総合計画審議会  
会長 小崎 敏男

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案について（答申）

令和元年12月19日付けで、貴職から諮問のあった「平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案」について、本審議会で慎重に審議を尽くした結果、次のとおり答申する。

答申

昨今の気候変動に起因する気象災害は、世界各国の経済に甚大な損失をもたらし、とりわけ途上国においては、国の持続可能性が問われ始めている。また、わが国においては、少子高齢化を伴う人口減少が、国の持続可能性に大きな影響を与えている。直面している人口減少は、今後、加速度的に進むと考えられる。急激な人口減少は、消費の低迷のみならず、将来、わが国の根幹をなす社会保障ひいては地方自治の存続の危機にまでその影響が及ぶと考えられる。

こうした状況下で、国は、国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する中長期の目標を掲げている。「まち・ひと・しごと創生」は、人口減少を克服し地方創生を行うことで、将来にわたって活力ある日本経済ひいては地方自治を維持することを目指している。

本市の人口は、現行の総人口25万人程度が今後25年間で20%程度減少し、約20万人程度になると見込まれている。また、65歳以上人口が総人口の4割になり、14歳までの年少人口及び65歳以上の老年人口が、15歳から64歳の生産年齢人口と同じか、それを超えてくることになる。こうした人口減少及び人口構造の変化は、市民生活を維持するインフラ等の提供及び財政に甚大なる影響を与えられられる。

本審議会は、人口規模及び人口構造の変化等を十分に踏まえるとともに、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートすることに伴い、その方針と国連のSDGs（持続可能な開発目標）も内包しながら、「平塚市総合計画（改訂基本計画）」について検討した。まず本市の課題を考察すると、第1に地域経済の活性化、第2に結婚・出産・子育て支援、第3に超高齢社会の対応、第4に安心・安全なまちづくりが喫緊の重要課題となる。こうした課題に対して、重点施策として取り組む姿勢は高く評価できる。

本審議会は、このような基本的な考え方から、「平塚市総合計画（改訂基本計画）」の内容については、概ね妥当なものとする。ただし、市民の声を十分聴きながら、市民一人ひとりと課題を共有し、かつ、市民目線を持って、計画の策定に当たるとともに、新たに生じる課題についても、スピード感を持って柔軟に対応することを切に望むところである。

以下、策定の留意点を記すことにする。

## 【序論】

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案における「序論部分」において、計画の実現に向けて5つの「まちづくりの基本姿勢」を記載している。新たに人口構造の変化を見据えたまちづくりを加えたことは評価できるが、次の点については更なる書き込みをお願いしたい。

### 第3章 総合計画の実現に向けて

#### （1）誇りと愛着を持てるまちづくりについて

多くの人々が「誇りと愛着を持てるまちづくり」を進めていくためには、地域資源をはじめとした本市の魅力を市内外に効果的に発信していくことが必要であるため、より積極的な情報発信をお願いしたい。

## 【基本計画】

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案における「基本計画部分」において、新たにSDGsの認識や重点施策との関連性を示したことは評価できるが、次の視点について、書き込みをお願いしたい。

#### （1）SDGsの推進について

SDGsを推進することは、まちの持続可能性を高めるためにも、また地方創生の実現を目指すためにも重要と考えられる。共生社会ホストタウンに認定されたことも踏まえると、重点施策に対して「障がい者施策」を関連付けていただきたい。

## 【重点施策】

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案における「重点施策部分」において、これまでの施策効果を継続させるとともに、重点施策「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」において施策名を変更するなど、新たな課題に対する認識を示したことは評価できるが、次の視点に御留意願いたい。

#### （1）高齢者対策について（Prosperity<sup>\*</sup>, People<sup>\*</sup>, Partnership<sup>\*</sup>）

本市は、全国や神奈川県と比べて高齢化率（総人口に占める高齢者の割合）のシェアが大きく、またスピードも速いことに留意する必要がある。特に、75歳以上の割合が今後、急拡大することに留意して早期から施策を講じるよう政策運営を行っていただきたい。また、現在、高齢者の多くが地域活動など様々な場面で活動していることにも留意いただきたい。

( 2 ) 安心・安全に暮らせるまちづくりについて(Planet\*, Peace\*)

近年の異常気象や台風などの災害が多発していることを踏まえ、市として、災害・防災への対策がますます重要となると考えられる。また、万が一、被災した場合の対策も十分考えておくことが必要である。さらに本市の治安対策の充実も必要であると考えられる。

\*: S D G s の考え方である 5 つの P ( People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership )

**【分野別施策】**

平塚市総合計画（改訂基本計画）2次素案における「分野別施策部分」において、これまでの施策効果を継続させるとともに、指標の見直しや目標値の上方修正を行うなど、施策推進に向けた積極的な姿勢を示したことは評価できるが、次の視点に御留意願いたい。

( 1 ) 安心して暮らせる支え合いのまちづくりについて

安心して暮らせるまちづくりには、まちの治安の安定が最も重要と考えられるため、行政として、自治会との連携や個々人の向こう三軒両隣の繋がりを密にしながらのまちづくりをお願いしたい。

( 2 ) 活力とにぎわいのあるまちづくりについて

活力とにぎわいのあるまちづくりには、企業誘致が人口の社会増の観点から非常に重要であると考えられるため、より積極的に取り組んでいただきたい。また、大学、企業とも連携して活気のあるまちづくりをお願いするとともに、中心市街地のにぎわいに関する指標の設定については地域の実情との整合性を図られたい。さらに、農業の多面的機能や競輪場に対する視点・考え方を表現していただきたい。

**【その他】**

- ・多くの市民の目に触れる計画であることから、使用する語句や文章表現、用語の統一など市民にとって分かりやすい記載とされたい。

以 上